

平成 2 4 年 第 4 回 定 例 会
陳 情 文 書 表

自 陳情第 2 8 号
至 陳情第 3 0 号

陳情 番号	件 名	付 託 委員会	審 査 結 果				頁
			日	委員会	日	本会議	
28	消費税の増税中止を求める陳情						1
29	私たちは府中市が“自然エネルギー社会をめざす都市宣言”を行うよう望みます陳情						3
30	オンブズマン制度を変えてほしい件についての陳情						4

陳 情 番 号	2 8	受理年月日	平成 2 4 年 1 1 月 2 2 日	
陳情人住所氏名	府中市晴見町 2 - 1 5 - 5 東京土建一般労働組合府中国立支部 執行委員長 石 村 英 明			
件 名	消費税の増税中止を求める陳情			
〔陳情趣旨〕 本年、8月10日、可決成立した「一体改革関連法」は与野党3党による修正で社会保障改革の将来像は今月発足させることで合意された社会保障制度国民会議での論議に先送りし、高額所得者に応分の負担を求める所得税や相続税の最高税率の引き上げも、例年12月上旬に決定される税制改正大綱での論議に先送りされています。しかしながら、衆議院の解散が決まったことにより、国民会議を頻繁に開くのは困難で、新政権の対応によっては協議が停滞する可能性もありますし、税制改正大綱の決定も年明けにずれ込むことが確実な情勢です。既に、増税分については大型公共事業の財源に充てることも明らかとなり、もはや社会保障・財政再建のためという政府の大義名分も破綻しています。 消費税は経済的に弱い人ほどその負担が大きい最悪の逆進的な税制であり「貧困と格差」を助長する一因ともなっています。また取引上、弱い立場にある中小零細業者が消費税を価格に転嫁できないという問題も放置されたままとなっています。消費税増税によって事業が悪化することで、日本の雇用の7割を支える中小零細業者にも大打撃を与えるのは必至です。 私たち中小零細建設業者や一人親方、職人の暮らしは、収入が落ち込み、医療・年金・介護などの負担がふえて大変厳しい状況にあります。消費税が増税されれば、日本経済の6割を占める個人消費も落ち込み、内需が低迷し、地域経済は一層悪化してしまいます。私たちの仲間は少ない利益の中から生活費を削って消費税を納めているのが現状です。このような状況で消費税を増税することは、中小零細業者の大量倒産と廃業につながります。最悪の場合は自殺者の増加など命も脅かされることとなります。 国民の暮らしと命、地域経済はもちろん、国の財政をさらなる危機に追い込む消費税の増税はきっぱりやめることを求めます。つきましては貴議会に対し、以下の事項について国に意見書を上げていただくよう陳情するものです。 〔陳情事項〕				

1 消費税増税を柱とする「一体改革関連法」を廃止し、増税を中止すること	
付託する委員会	

陳 情 番 号	29	受理年月日	平成24年11月27日	
陳情人住所氏名	豊島区長崎5-6-12 府中市に“自然エネルギー社会をめざす都市宣言”を求める署名実行委員会 実行委員長 本 間 慎 署名15,041人			
件 名	私たちは府中市が“自然エネルギー社会をめざす都市宣言”を行うよう望みます陳情			
〔陳情主旨〕 府中市は1986年に「平和都市宣言」を行いました。2011年3月11日の大規模震災に続く東京電力福島第一原発事故は「平和都市宣言」のもとで、「日々安心して暮らせる平和」と「愛する郷土を未来に引き継ぐこと」を願う私たちに新たな課題を投げかけました。原発は完全な制御が困難で、事故は周辺地域から住民等を追い立て、その被害は広域化し、除染などの費用ははかり知れません。また放射線の遺伝子への影響は低線量でも大きな不安を呼び起こしています。私たちは子どもたちや未来に生きるもの全ての視線に立ち人間生活の基礎であるエネルギーのあり方に思いを馳せ、考え直す必要があります。原発の廃炉をめざしさまざまな工夫を重ねて、自然エネルギー社会の建設に転換すべきです。この道のりは容易ではありませんが、市民の間の対話を大切に、省エネ技術に注目し、新たなエネルギーによる地域と国づくりに向け一步を踏み出すべきです。そして、核兵器の廃絶と原発の廃炉をめざし、戦争と放射能被害のない平和で安心できる社会を確実に子どもたちに伝えるために、府中市が、原発に依存しない“自然エネルギー社会をめざす都市宣言”を行うよう要望します。 以上を踏まえて、私たちは、府中市が、次の項目を実施することを求めます。 〔陳情項目〕 府中市が「自然エネルギー社会をめざす都市宣言」を行うこと (11月27日現在 賛同団体：20団体 個人賛同人：114人 署名者：1万5,041人)				
付託する委員会				

陳 情 番 号	3 0	受理年月日	平成 2 4 年 1 1 月 2 8 日	
陳情人住所氏名	府中市武蔵台 3 - 2 5 - 2 竹 内 苗 子			
件 名	オンブズマン制度を変えてほしい件についての陳情			
〔陳情趣旨〕 昨年、府中市役所主催の手話講習会がありましたが、運営員の人とトラブルになりました。運営側の話だけを聞いてしまい障害者福祉課が私を一方的に手話講習会をやめさせられた。一度話し合いをしてくださいと言ってしてくださったけど、市役所が中立になれなかったことで本当に辛かったことやなぜトラブルになった理由を言えなかった。私は心にしこりがあり、辛かったからもう一度話し合いしてくださいと何度も何度も交渉をしましたが、もう話し合いは終わったことだからと言ってシャットアウトされました。1月10日にオンブズマンに申し立てしましたが、障害者福祉課係長・課長補佐・課長も全て手話講習会運営員会に任せていたからとわかり、主催者がトラブルになった人が両方の話を聞いて判断をしてほしかった。そして全てを任せて運営側にだけついたら、聞いてもらえない方は本当に公平に見ていないから全て私が悪者になりました。もっと市民の人が困らないようにしてほしいとオンブズマンに言いたかったけど、係長・課長補佐・課長も運営側について私を悪者にして全く話を聞いてくれなかったことが傷ついていたので感情的になり、本当に市の対応が悪かったことで具体的に書けなかったです。手話の運営の人にしか話を聞いてくれなかった。中立になれない。全て運営員会に任せていたのでおかしいからもう一度話し合いしたいことも言いたかった。感情的になりチンプンカンプンに言ってしまった。オンブズマンが書面で書いて市が答えることでも話し合いの内容で書いていたそうですが、嘘の情報で伝えられたことも書面の回答だけで、市役所の対応は絶対に間違っていないからとオンブズマンが両方の話を繰り返し聞かないで簡単に言ったことで、オンブズマンが間違って解釈していても確認を両方に聞かないから市役所側についていたように思いました。オンブズマンが全て一方的に判断して市民がにっちもさっちもいかないうにしないでほしいと思いました。 1 回の問題を 1 度だけのチャンスで終わるのではなく回数をもっと 3 回までにしてほしいです。理由は、市役所が自分の都合のいいように言って嘘の情報を流してオンブズマンに対応がよいと間違って出すことになるの				

で、公平に見るために書面ではなく顔見てお互いに聞きながら判断をしてほしいです。オンブズマンが間違っ市対応がよかったと出してしまったら、私がどんなに苦情を聞いてほしいと他の係や市長の秘書課に言って相談したり市長の窓口と言ってもオンブズマンで決まると、どこの窓口も竹内さんの話はきかなくてもよいと市長が判断しています。オンブズマンが判断しましたと、どこの部署、係の人まで言うとなると全く身動きができなくなります。

市役所全体で塞ぎ、聞いてくださいと言ってもシャットアウトされました。障害者福祉課、課長が対応できないから部長と話をしたいと言っても課長どまりで、話し合いを持っていただけなかったことで本当に追いつめられました。オンブズマンの間違ったやり方、判断で市役所が全体で無視するのはしないでほしいです。オンブズマンのやり方を変えてくださるとうれしいのでお願いします。

付託する委員会	
---------	--